

「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」

2015年2月

63号



# つるの おんがえし

丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、間もなく30年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします。

株式会社 感動・創庫  
kando-soko

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103

TEL: 0463-79-9777

http://kando-soko.com

発行編集責任者: 芦川永光

今年も良い年にするぞ~!!!

商売繁盛のご祈禱をしました!! 今日だけ和装にしました~



本厄の年だったので、厄払いをしてもらいました!!



こんなに寒い日が続くと、夏が恋しくなるものですが、半年もたてば「早く寒くなれ」と言ってしまう私たち日本人は、なんてお気楽なのでしょう。そんなわけで、この寒い冬に強く根を張りたいたいと思っています。一年中お気楽「ククラク、感動・創庫の芦川永光です。」

今年2通目の「つるのおんがえし」。第1号を20名の方にお送りしたこのニュースレターも、今では発送先は300名超。ここまで増えますと、「そもそもなぜ、つるのおんがえしというタイトルなの?」とのご質問もいただきます。そこで、遡って昔々、私が野球少年だった頃のお話から、ご説明をしたいと思います。監督がみんなの前で帽子を脱がせて、「こういう頭にすんだぞー」とペシペシ頭をなでるほど、ツルツルの丸坊主だった私。小学校3年くらいだったでしょう。そんなんであだ名が「つる」になったわけ。38歳の今でも、昔から知っている人は「つる」「つるたん」「つるおか」と言いたいように呼びます。最近お会いした方でも「つるちゃん」「つるさん」とそう呼んでほしいとお願いをしているくらい、大好きなあだなです。

ニュースレターはご提案しているお客さまにもお話をしますが、「私、芦川を忘れないでねー」というお知らせです。なので分かりやすく、呼びやすい名前。お世話になっているお客さまへお役立ちを届けたい。それが集まって、つるのおんがえしです。隅々まで読んでいただいたら嬉しいですが、何か一つでも、わずか一言でも、恩返しになることをお伝えできたら、またこうして長々と書いてしまいました。書いてる本人が一番楽しんでます。さあ、世界を変えにいきましょうか!

心に響く感動の格言

by サッカー日本代表  
ハビエル・アギーレ監督

刺さりますよね～。ひとことで衝撃を与える言葉に、最近は目がなくて…。

初采配の試合後、選手たちへ最大級の賛辞として、放送禁止の褒め言葉で出迎えたときのひとことです。

規律のとれる日本人を、こういうトンがった監督がまとめることに、個人的には超わくわくしています。八百長問題とかあるみたいですが、それは本人がきっぱり否定しているのですから、まずは応援しましょう～！

すばらしい  
パフォーマンス  
だったぞ  
つるの野郎  
どもども



涼子の  
気になっちゃう  
広告!

エレベーターを使った  
育毛シャンプーの広告です。

↓開いた状態



↓閉まっている状態



こんにちは、涼子です。久しぶりのこのコーナー、今月から再開しますね!!! 世界には、本当に面白い広告があふれています。笑っちゃうもの、へえ～と思うものアイデアがふんだんです。そんな広告を少しづつご紹介しますね。

今回は、育毛シャンプーの広告をピックアップ!! エレベーターの開閉を上手く使っている広告です。インパクト大ですね。頭皮が気になりだした方は、ドキッとしちゃうかも。私も「上手い!」って思いました。

編集後記

駅伝大会に参加!!



最後はトラック勝負、心肺機能フル稼働のデッドヒートでした。1月11日、大和市駅伝大会に出場しました。一人3キロ、5人でつなぐタスキをアンカーとして受け取って、年末の練習不足もなんのその、はじめから突っ込み気味で走りました。バテバテになった最後のトラック一周で抜かされ、なんだとおくと抜き返し、抜かされ、と最後は同タイム、胸の差で負けました、悔しい～。会場は随分と盛り上がったみたいです。こういうときって、周りの声とか一切聞こえないんだって、初めて知りました。



アンカーのトラックデッドヒートです!!

本を読み、時代を読む

時代を読む



出では消え、また現れるおすすめ本のコーナー。間も無く読み終わる、同時進行の2冊をご紹介します。

孤独の価値

「絆」で疲れた日本人は、潜在的に多いと思います。丸一日部屋にこもってネットサーフィン、公園で一人でお弁当当それって孤独ですかね? 孤独、いけませんかね? 私は、時々世の中から「ズレる」自分の考えを、まるく肯定してもらったように感じました。たまにはサボタージュして、温かい公園のベンチに座って、1日でダーッと読みたい一冊です。

アイデアのちから

この本を開いて、わずか数ページでグッと心をつかまれることでしょう。その「つかみ方」が印象に残る事例とともに、たたみかけてきます。土業の方ならば、ネタ帳代わりに使えるでしょう。これから広告物を作りたい人には、ライティングのコツを掴む教科書にもなるでしょう。あらかじめ課題を持って読み始めれば、何かしらの答えが返ってくる一冊です。洋書を日本語訳していますが、うーん読みやすい。

森博嗣 著 幻冬舎刊  
価格821円(税込)



チップ・ハリス 著/ダン・ハリス 著  
日経BP社刊  
価格1728円(税込)

